

# 賑岡地区社会福祉協議会広報誌



第9号  
平成28年8月1日  
発行  
賑岡町社会福祉協議会  
会長 林 博之  
(大月市社協内)  
電話 23-2001

## 今、トレンドは古き良き時代の福祉!!!

## 賑岡地区社協の目指すところ

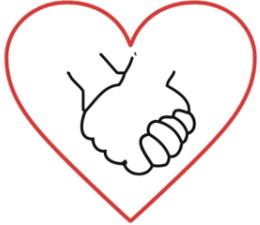
### 「わいわいあそび」助けあそび

平成27年の介護保険法改正法における特徴的な事業のひとつ、「生活支援体制整備事業」では、「生活支援コーディネーター(支えあい推進員)」が位置付けられています。これは、サービスが充実してきたことにより、住民同士の支えあいが薄れてきていることが、大きな背景となっていること「えあい」を重んじています。我が賑岡町においては、まだまだ、充分な地域のつながりがあるところが多いとは思いますが、これから先も、つながりを維持したり強固にしていかなければなりません。賑岡地区社協では、そんな何気ない地域のつながりを推進すべく、色んな事業を実施しています。「遠くの親戚より、近くの他人」とはよく言ったものです。もちろん遠くにいる身内も頼れるかもしれませんが、とつさのときにはご近所さんに頼れるといいですよ!

## たすけあい・ささえあい啓発の 啓発ポスター

たすけあい・ささえあい啓発のためのポスターを作成し、現在は各区・各自治会の公民館・集会所や医療機関、福祉施設などに掲示していただいております。  
ポスター掲示にご協力いただける方、募集しています。よろしくお願ひします!

困ったとき、  
あなたは  
誰を頼りますか?



「遠くの親戚より近くの他人」ということわざがあるとおり、いざという時に頼れるのはご近所さんです。住民同士、お互いに助け合ひましょう!

賑岡地区社会福祉協議会  
賑岡町社会福祉協議会  
0294-23-2001 (大月市社会福祉協議会内)

## ご近所たすけあい メッセージボード

昨年9月に、山の都福祉会さんの納涼祭とデイサービス福祉工房さんの秋祭りにお邪魔し、ご近所たすけあいメッセージボードのコーナーを設置、たくさんの方の皆さんに、たすけあいやささえあいについて、自分自身はどう思っているのか、メッセージカードを書いていただきました。あまりにもたくさんさんのメッセージのため、全部をこの紙面上に掲載することは出来ませんが、一部をご紹介します。

「気軽に声をかけたり、ちょっとしたお手伝いをしています(畑仕事やお散歩など)」「雪かきの手伝いをしてもらったりして」「みんなでお茶のみをしています」「買い物に困っていたので車で乗せて連れて行ってあげました」「お料理を作ってくれちゃって届けています」「笑顔でみんなにあいさつします」「声掛けをしています」「認知症の方が歩いているのを見かけたなら家族に連絡します」「あいさつ運動をすることで知り合いになり、人を知ることで助けあえるようになる」「ごみ出しの手伝いをしています」「一人暮らしの高齢者が庭で日向ぼっこをしているのを見かけたなら話し相手になっていきます」...などなど...



The living that is happy in 賑岡 (賑岡で幸せな暮らしを)

「心温かいメッセージですね!ありがとございませう!」  
今年度も、施設のイベントなどで、実施予定です。よろしくお願ひします!

## 地域見守りマップ 始めませんか??

【見守りマップとは】地域の「気になる人(支援が必要と思われる人)」「とその人への住民の関わりを地図に落とし込み、地域住民の繋がりなどを把握して、その地域の福祉課題等を見出すものです。



地域見守りマップに取り組んでいる様子(ゆりヶ丘)

## あんしんカードと 地域見守りマップ、 ふれあいいきいきサロン

また、賑岡地区社協の代表的な取り組みでもあります。「あんしんカード」、「地域見守りマップ」、「ふれあいいきいきサロン」も住民相互のささえあいやたすけあいを目的とした事業です。それぞれがどのような事業なのかは、もう説明の必要もないですね!!(笑)

現在、ふれあいいきいきサロンは、次のとおり6サロンが実施されています。栃の実会(西奥山)、サロンこわぜ(強瀬)、寿恵広の会(下畑倉)、すみれ会(日影)、ゆりの会(ゆりヶ丘)、なでしこの会(上畑倉)

## 平成28年度 賑岡地区社協役員

- (会長) 林博之 / (顧問) 加藤進
  - (副会長) 池川元、小俣芳江、日向靖明、渡邊勲 / (常任理事) 小俣保春、吉岡幸弘 / (理事) 平井秀治、渡邊公明、山田正春、清水正春、山口孝一、長谷川朋子、山田茂、佐藤正儀、鈴木章雄、菱澤茂、山口和義 / (監事) 小林昇司、井上里江 / (評議員) 清水美恵子、河野ふく、渡邊喜美子、相馬恭治、若野進、矢頭和子、井上喜和子、小俣知子、矢頭照子、鈴木龍子、池川直伯、逸村仁美、佐藤佳伸
- ※順不同

## 地区社協って?

住民自身が、自分たちで生活する地域の困りごと(福祉課題、生活課題)を主体的にとらえ、課題解決に向けて、住民一人ひとりが自発的に地域ぐるみで取り組む活動組織です。  
地域には、区会や自治会、民生委員児童委員、公民館、防災会、消防団、老人クラブ、育成会、ボランティア組織など、色々な目的をもった組織があります。地区社協活動の推進は、このような地域に既存する組織を基盤として、お互いが協力し合う中で、地域ぐるみで進められます。

【なぜ必要なの?】地域福祉を進めるには、「公助」に加えて「共助」と「自助」が機能しなければ効果的に進みません。公助のみで頼ると制度やサービスの隙間が生まれます。この隙間に対応できるのは、「住民同士の支えあい(共助)」です。  
【見守りマップから調べること】  
・要支援者に誰が土のような事で関わっている?  
・助けあいのキーパーソン(世話焼きさんなど)はいる?  
・要支援者は、どのような自助努力をしている?  
・住民の皆さんが寄り集まる場所はどこですか?(畑、○○さんのお宅...など)  
・地域のどのような生活課題がありますか?(高齢化、買い物、交通の便など)  
これらを整理して、住民みんなが要支援者への新たな支援方法を考えたり、地域の課題を抽出したりします。まずは、ご相談ください!!!

**平成27年度 賑岡地区社会福祉協議会 事業報告・決算報告**

平成27年	4月30日	常任理事会
	5月9日	第1回役員会
	6月中旬	いきいきサロンへの助成金
	6月20日	賑岡地区ふれあいいきいきサロン連絡会
	7月25日	第1回賑岡地区社協研修会 (地域福祉活動の進め方)
	8月1日	広報誌「にぎおかの住民ふくし」第7号発行
	9月5日	常任理事会・第2回役員会
	9月上旬	敬老祝い金配布
	9月12日	ご近所たすけあいメッセージボード (山の都福祉会納涼祭)
	9月26日	ご近所たすけあいメッセージボード (福祉工房秋祭り)
	9月27日	ゆりヶ丘自治会「地域見守りマップ」研修
	10月9日	大月東小学校・大月地区社協との協働作業 (小学生メッセージ入れプランターづくり・山梨県共同募金会モデル事業)
	10月18日	賑岡地区体育祭参加協力
	10月25日	共同募金事業所訪問
平成28年	1月1日	広報誌「にぎおかの住民ふくし」第8号発行
	2月7日	賑岡地区社協研修会 (消費者被害への対策について)
	3月1日	大月市社協地区社協役員研修会参加
	3月17日	甲州市塩山北支部社協視察研修へ対応 (情報交換)
	3月中旬	ゆりヶ丘自治会全組において「地域見守りマップ」実施
	11月中旬～	大月市地域福祉推進大会参加
	11月21日	ゆりヶ丘自治会第2組において「地域見守りマップ」実施
	11月21日	大月市ふれあい福祉バザーへ協力
12月5-6日	常任理事会・第3回役員会	
12月12日	大月市ふれあい福祉バザーへ協力	

**社協会費について**

社会福祉協議会では、地域住民の皆様が社協活動に参加する意思の表明として会員制度による運営を行なっています。そんな地域住民主体の活動の実現と円滑な事業、サービスの推進のための自己資金確保のために、住民の皆様にご協力として、会費を納入して頂いています。

賑岡地区社協においては、住民の皆様より650円の会費を頂いています。平成27年度は、650円のうち500円を市社協の会費として納付し、市社協の運営費や

地域福祉に関する事業の財源として、有効に使って頂きました。また、150円を賑岡地区社協の運営費として、敬老祝い金や、会議費など事務費として、有効に使わせて頂きました。

毎年、多くの地域住民のご理解とご支援をいただいています。皆様のご協力で深く感謝申し上げます。また、平成28年度も、ご協力をお願い致します。

※これらの会費は、区長さんや自治会長さん方にご協力を頂き、納入をお願いしています。なお、区費等から納入して頂いている区や自治会等が大半です。

**平成28年度 賑岡地区社会福祉協議会事業計画の概要**

賑岡地区社会福祉協議会は、大月市社会福祉協議会および各種社会福祉団体とともに地域福祉 (すべての住民による福祉活動) を推進します。

**●具体的な取り組み計画**

1. 高齢者・障がい者等のための「あんしんカード」事業の推進
2. 地域見守りマップ (ささえあいマップ) の推進 (全地区を目標)
3. 地域における孤立や孤独死への対応や、認知症高齢者、障がい者などの要支援者への見守り活動に関する取り組みの検討 (あんしんカード事業との連携)
4. 広報活動 (広報誌、啓発用ポスター、ご近所たすけあいメッセージボード)
5. ふれあいいきいきサロンへの助成と支援
6. 買い物弱者への支援 (新規事業、各方面、月一回を予定)
7. 高齢者への敬老祝い金支給
8. 小学校や近隣地区社協との協働
9. ボランティア活動の推進
10. 住民懇談会の実施 (市社協)
11. 各種福祉活動への参加と協力

**収入の部**

項目	27年度決算額
社協会費 (市社協、賑岡地区社協)	705,250
市社協補助金	100,000
赤い羽根共同募金 (世帯募金、企業)	712,617
ふれあいバザー配分金	21,400
共同募金配分金	100,000
雑収入	1,321
前年度繰越金	315,131
<b>収入合計</b>	<b>1,955,719</b>

**支出の部**

項目	27年度決算額
市社会福祉協議会費	542,500
事務費 (会議費並びに消耗品等)	23,619
事業費 (あんしんカード、研修会、広報誌、敬老祝等)	138,658
赤い羽根共同募金 (山梨県共同募金会へ)	712,617
助成金 (いきいきサロン)	35,000
共同募金配分金	100,000
その他の支出	65,000
<b>支出合計</b>	<b>1,617,394</b>

※ 収入支出差引差額の338,325円は平成28年度へ繰越



左: 地区社協研修会の様子  
右: 第2回

**あんしんカードについて**

**登録申し込み受付中(随時)!**

高齢者世帯や一人暮らし高齢者の方、障がい者の方などを対象に、緊急時の「万が一」に備え、家庭内保管用と外出時の携帯用を作成発行します。

☆お問い合わせは☆

①賑岡地区社会福祉協議会  
電話 23-2001 (大月市社協内)

または...

②お住まいの地域の民生委員さん



**ふれあいいきいきサロン連絡会を開催しました**

6月18日(土)に、大月市民会館において、活発的なサロンが運営されるよう、皆で情報交換し考えサロンが更に発展していくことを目的に、25名あまりのサロン関係者や民生委員の皆さんのご参加をいただき、標記連絡会を実施しました。

レクリエーション講習会では、賑岡町内にお住まいの山梨県レクリエーション協会理事兼事務局長の新海友也さんを講師に迎え、実施しました。普段行なっているサロンのマンネリ対策のために、レクリエーションやリズム体操等を教えていただきました。



**消防団、訓練大会で入賞**

6月26日(日)、初狩中学校校庭において、大月市消防団の訓練大会が行われました。選手の皆さんは、足かけ約1か月間の厳しい練習に耐えて頑張ってきました。その結果、努力の甲斐があつて、見事3位入賞を果たしました。第4分団は、前回優勝するなど、毎回入賞を果たしています。すごいことですよ!!!

消防団活動はその活動から、自ずと福祉的な役割をも担っています。そのチームワークで住民とともに地域を盛り上げていきましよう。宜しくお願いします!!!

続いて、情報交換会を行ない、サロンが持つ課題とその解決に向けた取り組みをグループごとに報告し、充実した情報交換会となりました。